

あいさつ

岐阜県博物館 館長

副島 雅浩



初夏のさわやかな風が吹くこの季節、森の中に佇む岐阜県博物館では最も清々しさを感じる時ではないでしょうか。私は、この4月に岐阜県博物館に着任しました館長の副島(そえじま)と申します。博物館関係の業務にはまったく疎い新参者ですが、全身全霊を掛けて職責を果たしてまいりますのでよろしくお願いいたします。

当館に着任した4月1日、車を降りた私の耳に最初に届いたのは鶯の鳴き声でした。その声に重なるように他の野鳥の囀りが聞こえ、まるで私を歓迎しているかのような錯覚の中で新年度がスタートしました。(私事ですが)今年度をもって県職員生活にピリオドを打つ私にとって、素晴らしい自然環境と知的好奇心に満ちた世界の中で、県職員として最後を迎えられることに喜びを感じつつ、関係する皆様へ感謝の気持ちを抱き日々職務に励んでおります。遅くなりましたが、博物館友の会の皆様におかれましては、開館45周年を迎えた岐阜県博物館の力強い応援団として、また最高の理解者として長年に

わたり格別なるご支援をいただき心より御礼を申し上げます。皆様の温かい声や献身的なサポートは、岐阜県博物館が愛され親しまれる施設であり続けるための正に原動力であります。

さて、世界中で猛威を振るう新型コロナウイルス感染症は、私たちの日常生活を一変させ、移動の自粛や集会の制限などが強く求められる中、親しい方々との食事や会話を楽しむことも儘ならない状況が続いております。当館でも、これまで1カ月以上に渡る閉館や催事の中止・延期・規模縮小といった対応を取ってまいりました。今後とも感染防止対策を第一に、必要な措置については躊躇なく実施いたしますので、会員の皆様には引き続きご不便をお掛けしますが、ご理解、ご支持いただきますようお願い申し上げます。

このような困難な状況にあります。今年度も2つの特別展「薩摩の陶と刀」「今日から防災!」を始め、様々な展示会や催しを計画しております。また、全県展開として、移動博物館の実施や大規模商業施設、文化施設、市町

村との連携など、例年と変わりになく事業に取り組み、来館者や参加者の皆様に魅了してまいります。さらに、新たな日常への対応として、リアルとバーチャルの融合やDX(デジタルトランスフォーメーション)等へのアプローチを進め、それらが博物館にとってどれだけの有意義な変化をもたらすのか検証に努めてまいります。一方、リアル(本物)を重視する博物館にとつては、バーチャル(仮想)を想起するDXやデジタル化は対極にある概念との感覚に陥りがちですが、その本質は博物館の価値を高めるためのものであり、リアルを損なう方向に作用することのないよう慎重に検討を進めてまいります。「博物館の価値を高めること」によって来館者の満足度を高めていく、これを目標に変化を恐れることなく邁進していきたいと考えております。

最後に、友の会の皆様には、岐阜県博物館が今後も愛され親しまれる館であるために、取えて欲しいご意見をいただきたく存じます。改善し続けることで博物館を日々向上させていくことが、当館全職員共通の願いでもあります。何かとご不便の多い今日ですが、一日も早く困難なときが過ぎ穏やかな日常に戻りますこと、そして友の会の皆様に多くの喜びが訪れますことを心よりお祈り申し上げます。

「薩摩の陶と刀」について

岐阜県博物館 学芸部 立花 昭

岐阜県博物館では、令和3年度特別展として、岐阜県と鹿児島県が姉妹県盟約を結んでから50周年を迎えたことを記念し、「薩摩の陶と刀」展を開催します。

この盟約は、江戸中期、薩摩藩によって実施された木曾三川の宝暦治水工事が契機となり、昭和46年に両県のあいだで締結されたものです。以後、さまざまな交流事業がおこなわれ、今回博物館では岐阜の美術工芸として馴染みの深い「陶磁器」と「刀剣」に着目し、鹿児島が誇る「薩摩焼」と「薩摩刀」に焦点を当てた展覧会を開催いたします。

幕末に欧米で絶賛され、工芸のジャポニズムを沸きおこした絢爛豪華な「薩摩焼」、そして波平一派に代表され、その歴史は平安時代にまでさかのぼる「薩摩刀」は世に名高いものの、これまで岐阜県内で紹介される機会は少なく、十分に知られているとはいいいがたい状

況にあります。こうしたなか、鹿児島県歴史・美術センター黎明館の所蔵品を中心として、それらの歴史や優れた技術・技法などを紹介していきます。

1 会期・時間・休館日

令和3年7月23日(金・祝)～9月26日(日)

9:00～16:30(但し、7月23日(金・祝)は10:30開館)

月曜日(8月9日、9月20日は開館)、8月10日(火)、9月21日(火)

2 会場

岐阜県博物館 本館4階 特別展示室

3 入館料

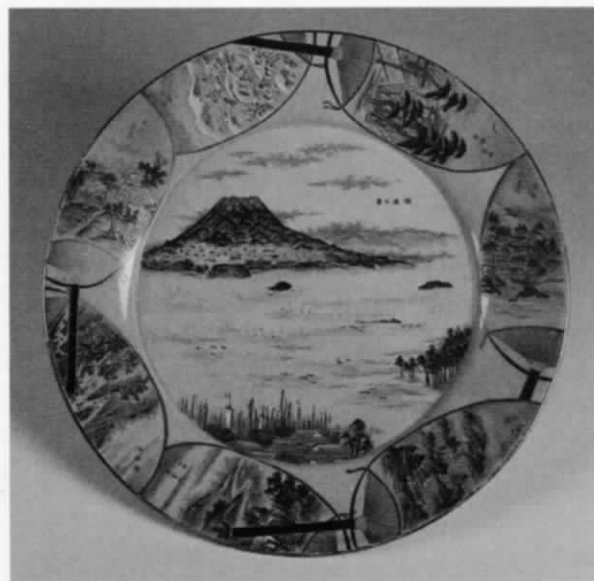
一般 600(520)円、大学生 300(200)円、

高校生以下 無料

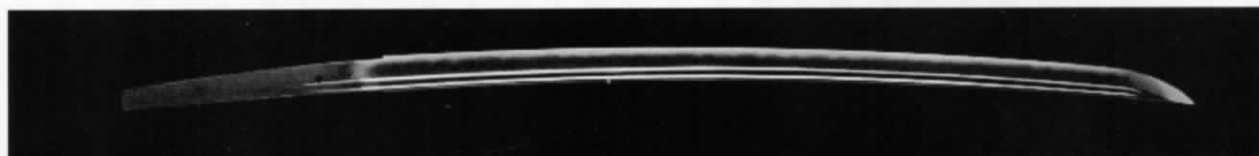
※但し、()内は20名以上の団体料金



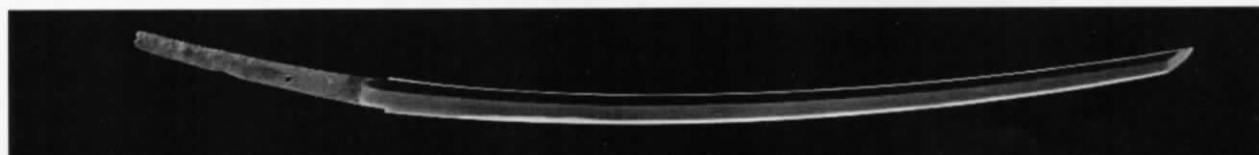
錦手牡丹文花瓶 薩摩 十二代沈壽官 明治時代
鹿児島県歴史・美術センター黎明館



錦手鹿児島八景図大皿 薩摩 慶田政太郎 明治～大正時代
鹿児島県歴史・美術センター黎明館



刀 無銘(号 朝鮮兼光) 備前長船兼光 南北朝時代 *伝島津義弘が朝鮮出兵で使用 個人蔵(鹿児島県歴史・美術センター黎明館保管)



重要文化財 太刀 銘 波平行安(号 笹貫) 薩摩 鎌倉時代 *島津家伝来 京都国立博物館

ぎふの鳥ライチョウー知って守ろう県の鳥ー

岐阜県博物館 学芸部 説田 健一

ライチョウはキジのなかまで、北極圏周辺を中心に分布し、一部がヨーロッパやアジアの高山帯に生息します。ニホンライチョウはライチョウの亜種で、本州の高山帯(火打山、北アルプス、御嶽山、中央アルプス、南アルプス)で見られます。

ところで、ライチョウが県の鳥であることをご存知でしょうか？ライチョウは北アルプスなどの高い山に生息し、簡単に見ることができないため、身近な鳥ではありません。そのため、ライチョウが岐阜県の鳥であることは、あまり知られていません。一方、同じく県の鳥に指定されている富山や長野では、動物園で飼育個体を見ることができ、ライチョウは身近な存在です。現在、ライチョウは絶滅の危機にあり、さまざまな方法で保全活動が行われています。そのなかで、乗鞍岳(岐阜県!)に生息するライチョウは重要な役割を果たしています。ぜひ、ライチョウのことを知り、岐阜県にすることに誇りを持ってほしいと思います。

今回の企画展では、岐阜県博物館と岐阜大学が所蔵するライチョウに関わる資料を展示し、近年の保全活動の様子も紹介しています。コロナ禍ではありますが、ぜひご来館ください。会期は令和3年6月27日(日)までです。



▲乗鞍岳のライチョウ(撮影:大塚之稔)

～植物の名前に隠された物語を読み解く～

岐阜県博物館 学芸部 土屋 寿美

この春、飛騨高山まちの博物館にて岐阜県博物館移動展を開催しました。今回の移動展は「名前」をテーマに展示しましたので、その一部を紹介します。

1つ1つの植物の名には発見者の思いや生活、感性が反映されており、由縁となる物語が存在しています。

例えば、岐阜県を代表する伊吹山、白山の名が付いた植物、ヒダキセルアザミ、トウノウネコノメのように岐阜県の地名が付いた植物があります。また、スミレやハナイカダ、チングルマのように植物のからだの特徴から名づけられたものもあります。

今回紹介するのは、春に見ることのできる「ギンリョウソウ」です。ギンリョウソウは緑色の葉がなく、全体が白色をしています。森の中に白く浮かび上がる姿から、白銀の竜のようだと「銀竜草」と名がつけました。あまりにも透き通るような儚い白さから、別名「幽霊草」ともよばれます。ギンリョウソウは葉緑体をもたないため、光合成をしません。そのかわりに枯れ葉を分解する菌類が根に侵入して菌根をつくり、そこから栄養を得ています。こうした仲間のことを菌従属栄養植物といい、他にギンリョウソウそっくりな「ギンリョウソウモドキ」もあります。こちらは秋に咲くため「アキノギンリョウソウ」とも呼ばれます。

植物の名前には、一般的な名(和名や学名)だけでなく、別名や方言などがあります。名前の由来から、その植物について知っていくのも大変面白いものです。

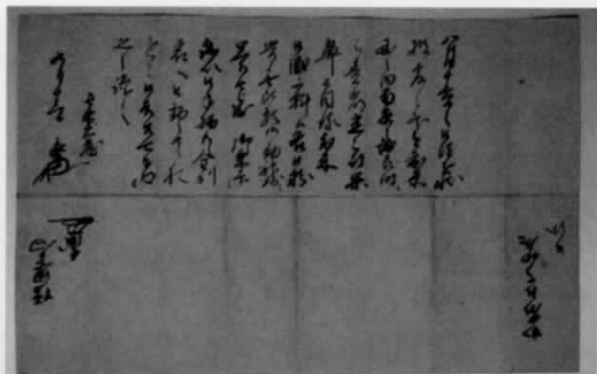


▲ギンリョウソウ *Monotropastrum humile*

資料紹介

「増田長盛・長束正家連署状」(当館蔵)

岐阜県博物館 学芸部 安藤 均



▲増田長盛・長束正家連署状

この書状は、昨年度当館が購入した所蔵資料です。

豊臣政権の奉行であった増田長盛・長束正家から加藤左馬助(嘉明)に宛てられた書状です。年号の記載はありませんが、慶長2年(1597)、2度目の朝鮮出兵である慶長の役の際に出されたものと考えられます。

内容としては、8月15日の南原城(現・韓国南原市)での戦いにおいて、嘉明が討ち取った敵将の鼻を送ってきたことを受け、その戦功を讃えています。

嘉明は三河国幡豆郡永良郷(現・愛知県西尾市)の生まれです。秀吉子飼いの武将の一人に数えられ、各地で戦功を挙げました。秀吉没後は徳川家康に接近し、会津攻めにも加わっています。そして美濃では、慶長5年(1600)関ヶ原合戦に加え、その前後での岐阜城攻めや大垣城陥落にも貢献しています。

東軍の勝利を決定づけたのは、嘉明をはじめとする諸将が美濃各地で活躍したことが大きかったと言えます。彼らは石田三成に積年の恨みを抱いて天下分け目の戦いに臨んだと言われますが、その背景にあったのがこの資料でも触れられている慶長の役でした。この役での嘉明ら諸将の動向に対する、三成の讒言によって対立が表面化、三成襲撃計画が実行される事態にまで至りました。

近年、当館では他にも加藤嘉明に関する資料収集を行っています。本資料も、関ヶ原合戦とのつながりという点では是非注目してほしい資料です。現在、新蔵資料紹介として今月27日まで展示中です。この機会に是非ご覧ください。

マイミュージアムギャラリー 第2回展示

「懐かしのビンコレクション 再び」

令和3年6月5日(土)~7月18日(日)

岐阜県博物館 学芸部 加賀 隆志

令和3年度の第2回目は、山田 正利さんによる「懐かしのビンコレクション 再び」を開催します。

22年前に行きつけの骨董屋の主人から戦前の珍しい形のサイダーのビンを見せられたことがきっかけでガラスビンに興味を持ち、ビンの色合いやビンが醸し出す独特の美しさに魅せられました。清涼飲料水や牛乳、調味料から始まって、薬、インク、化粧品などのビンやガラス製品を集め、平成22年にマイミュージアムギャラリー展示「懐かしのビン・コレクション」を開催しました。今回の展示では、前回から新たにコレクションに加わったビンやガラス製品を中心に約700点を展示し、ビンやガラス製品の魅力を紹介します。



▲牛乳ビンや薬ビン

(株)近畿日本ツーリスト中部 岐阜支店

岐阜支店 〒500-0873 岐阜市東門外11-10 TEL 058-265-0203

高山支店 〒506-0003 岐阜市高山1-15 TEL 0577-32-6901

岐阜県博物館からのお知らせ

○令和3年度がスタートしました

6名の新しい職員を迎えました。県民の皆さまに清流の国ぎふの自然・歴史・文化についてより親しみ、誇りを持っていただけるよう頑張りますので、よろしくお願いします。



■県博物館がJAF会員優待施設になりました

JAF(日本自動車連盟)の会員優待制度をご存知でしょうか。会員証を提示すると、提携施設や店舗で会員優待が受けられる制度です。とあるラーメン店では、トッピング1つ無料サービスをしているなど、その優待の形態は様々です。

県博物館は令和3年4月1日より、JAF会員の優待施設に登録されました。これにより会員証を提示すれば、会員本人に限り団体割引料金で入館券を購入できます。

かつて、百年公園の駐車場が有料だったころ、博物館に入館してくださった方には、博物館の窓口で駐車料金を返金していた時代があったようです。博物館は立地の関係上、自家用車での来館が多く、そういった方々への還元策はないものかと考えていました。その一つの方法として採用されたのがJAFとの提携だったわけです。JAFの優待施設に登録されることで、JAFのホームページに紹介されたり機関誌に紹介されたりして、会員のお出かけ先探しの候補として浮上してくる効果も期待しています。

友の会会員の皆様は、入館券をその都度購入され

るわけではないので、直接の関係はないかもしれませんが、お知り合いの方に博物館の訪問を勧める際に、「JAF会員であれば割引になるよ」と一声添えていただけたら幸いです。

他の施設では、会員証を提示すると同伴者まで割引料金が適用されるところもあるようで、当館では割引適用範囲が本人限定だと知ると少しがっかりされる方もみえるそうです。しかしながら、4月の開始から、ほぼ毎日一定の割合で利用する方があります。博物館が多くの方々にとって、少しでも利用しやすい施設になることを願って、これからも工夫を重ねていきたいと思っています。

友の会事務局からのお知らせ

★令和3年度 友の会の主な活動

○会議

- ・10月14日(木) 秋季理事会
- ・3月12日(土) 会長・副会長会議

○委員会

- ・会報委員会 4月15日(木)
- ・探訪の旅委員会 2月
- ・七草委員会 11月下旬

○友の会報 3回発行

- ・131号(6月)、132号(10月)、133号(2月)

○博物館との共催事業

- ・特別行事 「七草がゆを食べよう」1月7日(金)
- ・けんぱく教室・わくわく体験

○図録の刊行(2冊)

- 特別展『薩摩の陶と刀』、『今日から防災!』

○探訪の旅

- 国内探訪：【中止】 宿泊探訪：【見合わせ】

★今年度の岐阜県博物館の催事について

新型コロナウイルス蔓延防止のため、当初予定していたイベントや講演会が中止・変更となることが今後もあります。博物館HPやツイッター、またはお電話で随時ご確認願います。

後援会員

岐阜県建設株式会社

〒500-0001 岐阜県岐阜市1-1-1
Tel: 0575-22-0001 Fax: 0575-22-0002

URL: <http://www.kansai.co.jp> E-mail: info@kansai.co.jp

後援会員

岐阜県立文芸館